
とある訳ありの原子操作（アトムシャッフル）

ブルー・クローバー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある訳ありの原子操作アトムシヤップル

【Nコード】

N1103N

【作者名】

ブルー・クローバー

【あらすじ】

とある高校の一年生、葵蒼真あおいそらまはある組織に所属している。日常と非日常の中で彼は何を思うのか。そして来訪者が現れて日常も非日常もドタバタ騒ぎに!?

人物紹介 能力

人物紹介

葵蒼真
あおいそうま

大気操作系？レベル1。主人公。高校一年生。
ある組織の一員。意外と学園都市外の交流が広く、行動力もある。
能力の幅は広く、『物質変化』、『量子変速』他には周りの物質を
身に纏って、防御したりする。
本人曰わく「所詮はレベル1」しかし戦闘能力はレベル4並み。

紅野紀羽
くれのきのう

ワールドクリエイター
構築世界レベル3。高校一年生。
半径10M以内で自分だけの世界を構築する。物理法則も多少は無
視できる。
シヨタコン（無自覚）。葵、紅野、甲斐、沙波の4人グループの中
では、リーダー格。

甲斐紫蓮
かいしれん

エアプレッシャー
重力磁場レベル2。
自身の周りのGを変化する事が出来る。
趣味は登山。特技は人間方位磁石。

さなみはるかぜ
沙波春風

『鼓舞』という肉体強化レベル2。
メガネっ娘。委員長でも無いのに委員長と呼ばれている。
見た目は吹寄と結標を足して2で割ったような感じ。

まえそのせいとう
前苑正当

物質硬化系レベル3。12歳。
紀羽の事を、姉のように慕っている。置き去りだった過去を持つ。

いなみやかがやき
伊那宮輝

エレクトロマスター
電撃使いレベル3。
攻撃の御坂、防御の伊那宮と呼ばれていてまあまあ有名。

出会い

「はあ……………はあ…」

リズムが乱れた呼吸で少年は走っている。遅刻とかならよくある光景なのだが、しかし今は丑三つ時、つまり真夜中だ。では、なぜ走っているのか、いや、何からにげているのか、どちらにせよ、彼は走っている。

「みいつけた」

暗闇に光る目が彼を映している。ギラギラと輝く、その目。黒いローブを身に纏い、なにやら豪壮そうな杖も持っている。ファンタジーの魔術師のような格好だ。

「まったく…なんなんですかアイツはっ!？」

「魔術師」

魔術師と名乗った人物はそれだけ言うと、杖を持った手を上に挙げ、何かを唱えだした。

「全ての生命の柱となる水　その偉大な力よ　我が糧になりて　全てを浄化する雨となれ」

鋭い雨が降る。氷に近いような。雨。すると少年は気づいたのか振り向く。

「痛いっ！とにかく痛いっ!?!でもこれ位なら俺の能力でっ」

するとどうだろうか。さっきまで降っていた雨は勢いを止め、少年の手に集まっていくではないか。

「何っ!？」

「ただだダッシューううにげるおお」

水は壁となり魔術師の行く手を阻む。また魔術師は唱えだす。

「詠唱短縮。スプレッドニードル！」

(やばっ…避けられない!?)

「凝固せよ」

ふいに現れた青年。青年は手をかざすと、飛んできていた水針は動きを止め、音をたてて落ちて行った。

そう。あの日の出来事は彼、葵蒼真の人生を揺るがすものだった。

中学三年生の頃の、事だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1103n/>

とある訳ありの原子操作（アトムシャッフル）

2010年12月23日14時14分発行